

ねんせい ちさんちしょう 5年生、地産地消で

もち おこな 餅つきを行う！

三浦だより

第193号

児童の活動

(68)

発行者
清泉小学校
自然教室

カナ (C) 組



せいまいのようす
精米の様子

J (エルサレム) 組



ガリラヤ (G) 組



がっしゅくつくつたやま
合宿で作った山



たんぼのひこばえ



ひつつきむし

予報では、爆弾低気圧による暴風雨となっていて心配しましたが、雨風ともに強くななく5年生が無事に到着しました。今日は、昨年自然教室で育てたもち米を使ってお餅つきをします。来年度の新入生に贈る紅白餅用の分を除き、43kgを精米して30kgつきます。3クラスなので1クラスが10kg、1回が2kgなので5回に分けてつきます。最初の一回はお父様方がつき、残り4回をクラスごとに4グループに分かれてつきました。しだいに雨が強くなってきましたが、集中しているといつの間にか晴れていました。つきたてのお餅を自分たちで持ってきた好みの味付けでいただいたら、午後は、合宿で造ったお山の様子や稲刈り後にひこばえの生えた田んぼの様子を観察しました。周りに生えているひつつきむしで遊ぶ人もいました。